

福竜丸だより

— 都立・第五福竜丸展示館ニュース —

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

● 100万人参観者運動をノ

'81年9月来館者数 5,089名

通算1ヵ月平均来館者数 3,747名

通算1日平均来館者数 146名

通算来館者数 239,818名

主張



中性子爆弾・戦域核の出現
いま、米国など核大国は、戦域核とか中性子爆弾とか新しい核兵器の開発に全力をあげ、あたかも、これらの新しい核兵器は、放射能による被害が少いか

核兵器廃絶のために、国連をゆり動かす国民の力強い運動を

国連の効果的な決議
去る九・二三久保山愛吉記念集会で採択された「よびかけ」には「国連における核軍縮のための効果的な決議」という一項があります。今日、この要望は私たちだけのものではなく、全世界の核兵器の止めどもない発展におびやかされている人びとの共通の願望でもあります。国連は超大国間の政治的駆け引きの場、ジュネチャーの場に止まってはなりません。
それは、ビキニ環礁やムルロア環礁が、実験だけでも人の住めないほどの放射能害をもたらしていることを見れば、疑問の余地もないことでもあります。国民運動の強化がカギ
私たちは、いま開かれている国連や来年に開かれる軍縮特別総会(SSD)に多くの期待をかけています。しかし、国連が元来、世界各国の政府代表の討議の場であり、必ずしも各国国民の立場をストレートに反映する場所でもないことを知っています。それは、各国の人民が自国の

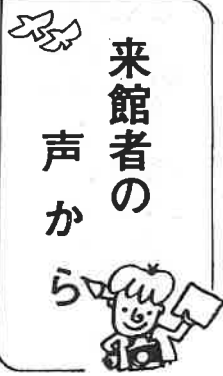
政府をどれほど強く動かすことができるかが、カギとなっていることでもあります。核兵器廃絶の行動を
いま、ヨーロッパでは、中性子爆弾・戦域核の問題をめぐって、西ドイツまで含めて、核兵器反対の国民運動が燃えあがっています。また、アメリカでもレーガン大統領の核軍拡政策へ反対運動が空前の規模でもりあがっています。

私たちは、こうした世界各国人民の運動に呼応して、日本でも核兵器廃絶のための諸行動を真剣にもりあげることが大切なことを自覚し、それぞれの立場で行動に立ちあがることを強く訴えます。

● 前号「主張」の誤植訂正

中段右から九行目の「全世界の核兵器が広島原爆の五万個に相当」は「広島原爆の百万個に相当」の誤植です。正確には「全世界の核兵器は五万個といわれ、それは広島原爆の百万個に相当」とすべきですが、何れにせよ、誤りを訂正します。

来館者の声から



ここに展示されている物品は黙っているからこそ雄弁に平和を語りかけている。私たちは、そのことばに対して何をしなければならぬかを自問させられる。

ぜひ御参加下さい

▼第18回ビキニ事件を知る集い
10月8日・18時〜21時、日本教育会館8階会議室。中性子爆弾の生産再開とアメリカの核開発(講師・安斎育郎氏)
▼久保山忌俳句会作品展
10月4日〜10月11日 第五福竜丸展示館。
▼夢の島と第五福竜丸を描くスケッチ展
10月18日〜25日 第五福竜丸展示館。

原水爆資料室募金協力者芳名

●前号報告以降(九・三現在)
杉浦吉雄、内山尚三、鈴木正四、富永五郎、田畑茂二郎、大橋収司、葛城幸雄、宇都幸子、小川政亮、山口省太郎、桜井澄子、金沢照子、吉田嘉清、川崎昭一郎、小野周、岸清次、横浜市従、都職労多摩都税、宮下絹子、九・二三記念集會参加者。
累計 九六八、〇〇〇円

「船を見つめた瞳」

●いよいよ完成・発売中ノ
第五福竜丸・親と子の感想録
展示館の第五福竜丸を見つめた46万の輝く瞳。人々が残した感動のことは。ぜひ一読下さい。
同時代社刊/四六判・百六十ページ/八百円(千二百円)。協会まで

編集後記

▼九・二三久保山愛吉記念集會をもち立てる形でひらかれた久保山忌俳句会で、多くの佳句が生れたが、「焼津まで秋空一枚遺言碑」に強く感動しました。
▼原水禁記念碑とか久保山記念碑とか呼ばれてきた石碑に新しい名が生れた思いがしたことと記念碑を焼津港と結びつけたことに心を打たれました。
▼九・二三記念集會のときに第五福竜丸の船体の応急修理が行われたが、その際に船尾の船名に静岡県焼津港と始めて明瞭に書き入れましたが、これも意義ふかいことと思われまふ。
▼この福竜丸が、展示館を訪れる人にどれほど深い感銘を与えているかは、このたび公刊された「船を見つめた瞳」にさまざまなと表現されています。
▼福竜丸を守っている平和協会は、そうした善意の大衆に奉仕していることに無上の喜びを感じています。

(H)

秋空のもと多彩に九・二三記念集会

三百余の参加者・久保山氏の碑のまえで

九月二十三日、秋分の日。晴れあがった青空のもと展示館の前は人でいっぱい。九・二三久保山愛吉記念集会に関連して、



スケッチ大会、俳句の会と二つの集いがひらかれるのはじめてのことです。

記念集会は午前十一時、三井周二さんの司会で開会。広田専務理事、三宅会長のあいさつにつづいて、二名の代表が菊の大きな花輪を記念碑に捧げ、原水の犠牲者に全員で黙祷、同じ時刻、焼津・弘徳院で開かれていた墓参・追悼のつどいからのメッセージ、婦団連からの心のこもった連帯電報が紹介されました。

関連行事の役員のあいさつにつづいて、後援団体である東友会の永坂昭事務局長と、平和

協会理事本多喜美さんがそれぞれ三〇分にわたって記念報告。

自らの被爆体験を語られる永坂先生の報告は参加者の胸にしみこむよう。本多さんは医師として永年とくりこんできた原水爆禁止運動を語られ、マイクロネシアの人びととの連帯を強く訴えました。猿橋勝子さんが閉会のあいさつをのべるころは参加者は三百人をこえ、用意したアピールの印刷物も足りなくなるほど。会が終わってからも、展示館を見学し、芝生で学習会を開き、あちこちでこんだんするグループが見られ、核兵器の全面禁止のための決意を新たにしました。



高まる関心に応えて 理事会・評議員会開く

九・二三記念集会を前にした九月二十一日、神田・学士会館で第45回理事会と評議員会(拡大)がひらかれ、資料室開設募金の達成をはじめ、秋の諸行動について討議が行われました。

理事会には、三宅会長、広田専務、田沼、本多各理事が出席。船体補修工事の進行とその反響、着実に増加する参観者や感想録『船を見つめた瞳』の出版をはじめ、一般の関心が高まっているなかで、展示館と平和協会の果すべき任務は重大であり、九・二三記念集会と関連行事、十月八日の「知る集い」を成功させ、国連軍縮週間から十一月末の協会七周年の記念行事へと行動を強めていくことなどが決定されました。

つづいてひらかれた評議員会には、役員のほか、小野周、小川岩雄、川崎昭一郎、斎藤鶴子、猿橋勝子、関屋綾子、服部学、吉田嘉清の各評議員と浅野道風、料室開設については、集めるべき資料や方法、資料室についてもっとイメージを具体化し、作業グループなどを作つてつめていくことなど、いくつかの貴重な意見が出されました。

また、協会創立七周年についても、平和教育をめぐる問題での記念講演会をひらいたらとの意見がだされました。

おりから出版されたばかりの『船を見つめた瞳』が会場にとどけられ、普及にも力をいれていくことなど話がはずみました。

九・二三記念集会で採択された「夢の島からのよびかけ」

本日、東京・夢の島の第五福竜丸展示館に集まった私たちは、広島・長崎・ビキニをはじめ全世界の原水爆被害者の現状にあらためて目をむけ、核戦争の阻止と核兵器の廃絶を心から願ひ、当面のことを訴えます。

- 一、被爆者援護法の速やかな実現
- 一、中性子爆弾の生産の即時中止

一、国連における核軍縮のための効果的な決議



傷んだ船体を補修

「補修も大衆の良心とカンパでこそ」とすすめられていた第五福竜丸の傷んだ船体の応急修理が終わりました。九月九日以来つづけられていたもので、船尾の船板のひび割れの補強など。東京建設従業員組合の大工さん加藤庄太郎さんらの尽力で三〇万円以下で、見事な出来ばえです。

熱気とさわやかな句会

焼津まで秋空一枚遺言碑

地下鉄・東西線の東陽町に近い木材健保会館で、二十三日午後一時半から「久保山忌俳句会」。新俳句人連盟、原爆忌東京俳句大会実行委員会と協会の共催によるもの。記念集会に参加し記念碑に花一輪を献じ、福竜丸と

語った約四〇人の人びとが集いました。ジーパン姿の若い女性から着物姿のお年寄までみんな一人三句を持ち寄り、遠く北海道、京都などからも作品が寄せられました。短冊への作句、回覧による選句、朗々とよみあげられる被講とつづけられ古沢太穂新俳句人連盟会長の講評がおこなわれたのはもう夕刻。今回を第一回に毎年続けることも提案されました。

波茶に茶菓子、久保山さんへのびつつ、核兵器廃絶の大きな願いを小さな俳句にこめた優雅でさわやかな句会でした。

焼津まで秋空一枚遺言碑——選句でもっとも得票の多かった句の一つです。

作品展は十月四日から一週間展示館でひらかれます。もちろん入場無料。

中性子爆弾で「知る集い」

60人の参加者、スライドも好評

十月八日、日本教育会館で、第18回ビキニ事件を知る集いがひらかれ、約60人が参加、熱心な学習風景でした。講師は、日本科学者会議の安斎育郎事務局長、手づくりのスライドを使って一時間四十分余「中性子爆弾の生産再開とアメリカの核開発」と題し、わかりやすい調子での講演でした。核分裂、核融合反応の化学式から放射線量の数式、グラフ、レーガン新核戦略の図解、被爆の写真まで、次から次へと写されるスライドと流れるような説明に参加者はメモをとりながら聴き入りました。

展示館は花ざかり

スケッチ展にぎやかに

第一回夢の島と第五福竜丸を描くスケッチ展が、展示館で十月十九日から一週間ひらかれ大きな反響をよびました。

去る九月二十三日の久保山愛吉記念集会に関連しての「スケッチ大会」の作品四十二点を展示したもので、新小岩幼稚園のかねこたかし君のクレヨン絵から第四砂町中学校の石田寛子さんの水彩画まで、ずらりとかざられ花が咲いたよう。色彩豊かで、思わずウーンとうなる新鮮、大胆な構図もあり、来館者はみな立ちどまって熱心に観賞しました。

展示初日の日曜日には、表彰



また、九月二十六日、東京平和委員会が招待したパラオ友好訪問団の五人が展示館を訪問し、「マーシャルのんびといまなお死の灰」に苦しんでいる」と核兵器への怒りをこめて語っていました。



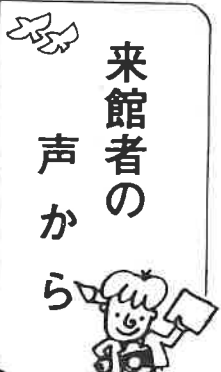
外国の代表も

国連軍縮週間を前にした十月二十三日、三人の外国の代表が展示館を見学。世界平和評議会書記局のB・パツさん、オーストラリア平和委員会のJ・クラークさんとパラグアイのE・ヤラさん。

平和と軍縮をめざす全国連絡会などが主催する「平和軍縮討論集会」に参加する代表で、一時間余熱心に見学しました。パツさんは世評の機関紙「ニュー・リースペクティブ」の編集長で鋭い質問を連発、子どもたちがたくさん見学に来ると聞いて、すばらしい運動だと大きくうなづき、感想録に長い印象記を書きました。

また、九月二十六日、東京平和委員会が招待したパラオ友好訪問団の五人が展示館を訪問し、「マーシャルのんびといまなお死の灰」に苦しんでいる」と核兵器への怒りをこめて語っていました。

来館者の声から



先日、丸木美術館に行き絵を見て来ました。原爆の図は丸木夫妻の体験に基づくものだけに大変迫力を持っていました。最近学校の教科書から「あまりに悲惨すぎる」という理由から排除することが決まったと聞きます。しかし夫妻の絵は非惨であるだけでなく、かぎりない人間に對する愛情も描かれていると思います。それだけに原爆を落したものの、戦争を起したものに對するにくしみ、おん念が表現されています。

そこには「焼津」と題された絵も展示されており、その前に立つと焼津の漁民達の目は全く同じ目をしてこちらをにらんでいます。あたかも原爆を製造するものに対するいかりを表現しているようでもあり、また私たちが日常の中で忘れがちな何ごとも眉びない、漁民としての誇りを表現しているようでも

ありました。ともあれ、今日の教育が真実を伝えないようにしているといふことは戦争準備としかいえないことがあります。このように考

船を真つ芯でとらえる 稲沢潤子

「来館者の声」には小学生・中学生からの感想が意外に多い。かつては「(船も人も)かわいそう」と一言書きつけた子どもの姿に、その子の感じたおどろきと心のうちのいじらしさがしのばれた。

今年になってからの感想には「自分の国のことばかり考

アメリカの核兵器の生産、軍拡競争のはじまりとその犠牲者の姿をはっきりと告げている。沿岸での操業をアメリカ軍の演習地域指定でしめだされ、小さな船で遠洋へ出ざるをえなかつたくらしのひずみは、いまもなおそのまま、あるいは形をかえて、ある。二つの子どもの意見はそのことを呼びこむ感想だと思われる。

編集後記

▽去る十月二十四日から国連軍縮週間に当っては、日本各地でさまざまな団体による核軍縮をめざす諸行動が展開されました。▽アメリカはもちろん、ヨーロッパ各地での反核のたたかいは西ドイツの三〇万デモをはじめオランダの制服兵士をまきこんだ平和行進、ローマ・ロンドンの大集会など画期的な立ちあがりが見られました。▽何れも人類の生存をおびやかくす核兵器問題が真剣にとりあげられてきた証拠ですが、それにしても、メキシコのカンクンでの南北サミット会議で、あえて孤立してまで軍縮の包括交渉を拒否したアメリカの態度はどう考えたらよいのでしょうか。▽レーガン政権の頑固で、思いあがった態度は、第二次世界大戦を前にしたナチス政権を思いおこさせて、背すじの寒くなるものがあります。▽いまこそ、平和教育の大切さを痛感します。(H)